



酒田での体験学習プラン ～交流で地域の課題を解決しよう！！～

富樫奏音 富樫亜美 真嶋幸和 山下乃愛

背景・目的

- ・去年の先輩達の研究を見て興味を持った
- ・酒田の地域活性化を行う

すでに分かっていること

岐阜県高山市の事例

- ・「地域の伝統文化や自然などを体験できるツアー」などによって、観光客数が平成8年～25年で約9.4倍！
- ➡ツアーや観光で地域活性化は実現できる

仮説

体験学習の旅行プランを提案する

- ・酒田市の魅力を十分に伝える
- ・観光客を継続的に呼び込む
- ➡地域活性化ができる

研究の方法

- ①初期プラン作成（済）
- ②酒田商工会議所に電話（済）
- ③古川黎明高校にプレゼンとアンケート
- ④高校生ガイドに関するアンケート
- ⑤プランを地域の方に見てもらう
- ⑥最終的なプランの作成・提案

結果

古川黎明高校へのアンケート

- ・ガイドをする側の高校生の意見を聞く
- ・オンライン上での事前交流を視野に入れる
- ・ワークショップの内容を見直す

高校生ガイドに関するアンケート

- ・事前学習で知識の共有、自己紹介・アイスブレイク

地域の方からのアドバイス

- ・事前交流、課題共有 ・時間、季節
- ・高校生が楽しめる場所 ・ワークショップ内容
- ・アクティビティなど遊びの要素

季節：秋頃（9～10月）

人数：40～60人

1日目

- ・酒田港や北前船の歴史を通して酒田にどのように他地域の文化が入ってきたのか
- ➡酒田港・相馬樓・海向寺・日和山を巡る
- ・高校生のツアーガイドが同行
- ➡酒田の街並みや歴史などを話しながら海向寺と日和山を散策する
- ・ワークショップの前に高校生同士の交流を深めておきたい
- ➡ミライニで事前学習についての発表やアイスブレイクのゲームなどを行う

2日目

- ・酒田の食文化を楽しみたい、宿泊する場所によって酒田市についてより知ることができる
- ➡夕日の丘キャンプ場で芋煮づくりをして酒田の自然と食を堪能する

3日目

- ・高校生が楽しめる参加型のアクティビティ
 - ➡松山能とウォーターボールで楽しかった思い出を作る
- ### <ワークショップ>
- ・違うコースの班とグループディスカッション
 - ➡意見を共有
- ### ①シャッター商店街の活性化
- ➡相手校の地域ではどのように取り組むべきなのかを商店街の方々との交流を通して議論する
- ### ②農業
- ➡高校生同士が本格的に講演内容について話し合い互いの地域の改善や商品開発・技術開発・パッケージデザインなどについてアイデアを出す
- ### ③再生可能エネルギー
- ➡環境負荷が少ない発電方法を洗い出し、どの方法がベストなのか話し合う

結論

- 体験学習プランは酒田に興味を持ってもらい、観光客を増やすのには効果があると言える
- ➡実現するには改善点が残っている
 - ➡継続的な観光客を見込めるとは言うには実証が足りない

今後の展望

- プランを実現するために
- ・ワークショップの際に講話をしてくれる方とワークショップの細かな内容について決める
 - ・財源の支援者を確保する
 - ・体験学習をしに来てくれる学校を探し、プランを提案する
 - ・学校の年間行事予定との調整をする

参考文献・謝辞

酒田さんぽ（7月12日）

<https://sakata-kankou.com/>

SDGsコンパス（9月27日）

<https://sdgs-compass.jp/column/1997>

高山市観光公式サイト（9月27日）

<https://www.hidakayama.or.jp/area/kyu-takayama/index.html>

庄内コンシェルジュ（1月24日）

<https://shonai-yamagata.com/detail/270/index.html>

高橋謙治様（酒田市商工会議所事務局長兼経営相談課長）

佐藤真久様 古川柳蔵様（東京都市大学教授）

高安英子様（東日本旅客鉄道株式会社）

齋藤知明様（酒田市産業振興まちづくりセンターサンロク）

伊藤一樹様（酒田市地域創生部商工港湾課企業立地・産業振興係）

小林和也様（一般財団法人酒田DMO）

遠藤久道様（株式会社農園貞太郎代表取締役）

古川黎明高校の1年生の皆様、先生方

アンケートに協力してくれた本校2年次生の皆様